

地域の生活課題への取り組みに向けて～平成25年度地域福祉推進フォーラムを開催～



【講演中の市川学長】

1月20日(月)、熊本県立劇場演劇ホールで「地域の生活課題への取り組みに向けて」～私達にできる支え合い活動を考え、さらに一歩踏み出すには～をテーマに「平成25年度地域福祉推進フォーラム」を開催し、県内外の市町村社協役職員、民生委員児童委員など約800人の参加がありました。

県社協良永会長開会挨拶の後、基調講演では、ルーテル学院大学の市川一宏学長から、孤立や引きこもりなどの地域が抱える問題、社会的養護や地域包括ケアといった社会福祉の動向について触れながら、地域での居場所づくりや生活上のちょっとした困りごとへの対応などの実践事例を通して、地域福祉関係者の役割や今後

の取り組みの方向性について話されました。

午後からのシンポジウムでは、沖縄県浦添市社協 地域福祉推進課長の中本昌幸氏からアウトリーチを重視した相談支援とコミュニティづくりの取り組みについて、大分県竹田市の暮らしのサポートセンター・久住「りんどう」会長の小野朝男氏と事業支援員の高木佳奈枝氏から生活支援サービスの実施と寄り合い場の運営について、鹿児島県さつま町白男川地区社協前会長の井川浩太郎氏とさつま町社協事務局長の山下光男氏から、住民座談会の実施と支え合いマップづくりについて実践発表があり、それぞれの立場で実践する地域の生活課題への取り組みについて協議を行いました。



【シンポジウムの様子】

県民児協新役員が決まりました ～熊本県・熊本市の定数は4,188名に～

去る平成25年12月1日、3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選が行われました。本県では、この度の改選で、熊本県・熊本市併せて43名増員され、定数が4,188名となりました。ただ、なり手不足の課題も生じており、欠員を抱えた地域が散見されます。

また、委員のうち約半数が新任の方となり、法定単位民児協会長の約半数が交代することとなりましたが、一斉改選後初めて開催された理事会において新しい正副会長も決まり、見守り・声かけや住民相互の助け合いなど、地域福祉の推進に向け新体制での活動が期待されます。

＜熊本県民生委員児童委員協議会 新正副会長＞

役職	氏名	所属
会長	宮本 武夫	菊池市民児協
副会長	季 平 聖也	あさぎり町民児協
〃	松本 祐一	玉名市民児協
〃	井上 篤子	八代市民児協

熊本県民生委員児童委員大学講座開催 ～新任単位民児協会長46名が参加～

1月29日(水)から31日(金)までの3日間、熊本県民生委員児童委員協議会と県社協の共催により、県総合福祉センターで「熊本県民生委員児童委員大学講座」を開催しました。

今回は、昨年12月の一斉改選後初の大学講座ということで、新任の単位民児協会長を対象に行われました。

これまで行われてきた大学講座のカリキュラムに加え、今回新たな取り組みとして、県警察本部から講師をお招きし「犯罪に巻き込まれない地域福祉活動のあり方等について」と題して講義をいただくなど、実際の活動にすぐに活用できる講座が盛り込まれ、より実践的なものとなりました。

また、最終日の午後には研究協議も行われ、活発な意見交換がなされるなど、熱意に溢れた新任会長の姿勢に、心強さを感じる研修となりました。



【県民児協 宮本会長】

介護支援専門員実務研修が始まりました



【熱心な演習中の受講者の様子】

今年度の介護支援専門員実務研修受講試験の合格者361名を対象とする「実務研修」が1月9日(木)からKKRホテル熊本で始まりました。

国で定められたカリキュラムを、1月から3月の期間で7日間受講することになります。

また、前期(3日間)と後期(4日間)の間には、受講者が各自で実習協力者を選定し、実際にその方の居宅サービス計画書を作成する「実習」も行います。

各事業所には、受講者が実習協力者の紹介等の相談に訪問した際には、ご協力いただきますようお願いいたします。

本研修修了後、県に登録申請を行い、登録後に初めて介護支援専門員として実働することができます。

災害時における職員派遣等を合意！ - 菊池ブロック社協災害時相互応援協定調印式 -

1月16日(木)、菊池市泗水総合支所で菊池市、合志市、大津町、菊陽町の各社協会長(菊陽町社協は職務代理者)が出席し、『菊池ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定』の調印式が行われました。

県内では、平成19年8月の阿蘇ブロック社協間の協定締結を皮切りに各郡市のブロック単位で締結が進み、本協定は県内9ブロック中7番目の締結となりました。

この協定の締結により、災害時の円滑で迅速な菊池ブロック社協相互間での職員派遣や資材提供を行うことが可能となりました。また、事務所の損壊や全職員の被災などにより応援要請ができない状況においては、要請を待たずに応援に入ることができる条項も盛り込まれました。

調印式では、協定書への押印が行われたあと、菊池ブロックを代表して菊池市社協会長の隈田亮平氏が「気持ちを新たに地域住民のために頑張っていきたい」と意気込みを語られました。



【握手を交わす各社協会長】

日本青年会議所 九州地区熊本ブロック協議会様から寄付

12月25日(水)、公益社団法人日本青年会議所九州地区熊本ブロック協議会様から寄付金をいただきました。

ご寄付いただきました浄財は、社会福祉振興基金に積み立て、「県民が支え合い、誰もがその人らしく安心していきいきと暮らせる福祉社会の実現」に向けて、民間の福祉団体やボランティア活動の支援、社会福祉事業の振興などに有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。

生活福祉資金貸付決定実績(平成25年11月末現在)の動向について

生活福祉資金貸付事業は平成21年度の大幅な制度改正により、「第二のセーフティネット」として、これまで申込者世帯の多様なニーズに対応してきました。

平成25年11月末時点における生活福祉資金の貸付決定件数は130件で、前年度同時期の194件と比較して、概ね3割の減となりました。

内訳として、求職活動中の生活費を貸し付ける総合支援資金の貸付件数が40件と前年度の約4割となり、進学費用等を貸付ける教育支援資金が24件と昨年度並で推移しています。


一方、福祉費の貸付は、前年度の約1.5倍となる44件となり、昨今の厳しい気候状況の影響を受け、高齢者等への冷暖房設備設置費用の貸付が増加しています。

教育支援資金の貸付については、受験シーズンを迎えることから、今後増加していくと予想されます。また、依然として厳しい雇用経済情勢により、教育費の捻出が困難な世帯も多く、平成24年度末より、授業料滞納者に対する教育支援費の貸付が恒久化されたことから、今後も、そのニーズは継続していくと考えられます。

生活福祉資金貸付決定実績(平成25年11月末現在)		
資金種類	件数	金額(千円)
総合支援資金	40件	14,171
福祉資金	福祉費	44件 19,118
	緊急小口資金	19件 1,407
教育支援資金	24件	5,511
不動産担保型生活資金	1件	7,672
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2件	14,325
生活福祉資金 計	130件	55,257
臨時特例つなぎ資金	15件	1,341
貸付総計	145件	56,598

各課トピックス

* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆理事会・評議員会のご案内◆</p> <p>県社協第2回理事会・評議員会を次のとおり開催します。</p> <p>日時 理事会 平成26年3月14日(金) 13:30~15:30 評議員会 平成26年3月20日(木) 10:00~12:00</p> <p>会場 理事会 県総合福祉センター3階「第3会議室」 評議員会 県総合福祉センター5階「研修ホール」</p> <p>内容 平成25年度収支補正予算、平成26年度事業計画、収支予算等</p>	<p>◆社協の保険への加入について◆</p> <p>「社協の保険」は、社協が事業を実施するうえで想定される賠償責任や役職員の業務中のケガなどを補償するもので、現在、全国の約70%の社協が加入しています。</p> <p>インターネットでの加入手続きも可能で、必要なプランのみを選択することもできます。未加入の市町村社協におかれましては、平成26年度からの加入について御検討ください。詳しくはホームページをご覧ください。</p> <p>社協の保険 <input type="text"/> 検索 </p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-324-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆ソウェルクラブ新規会員募集のご案内◆</p> <p>ソウェルクラブでは、平成26年度の新規会員を募集しています。</p> <p>平成24年10月から、全国会員22万人に対して新たな優待サービス「クラブオフ」をスタートし、サービスの拡大を図っています。さらに、県内の会員にはグルメイベントや野球観戦など、盛りだくさんの企画を廉価でご参加いただけるよう計画中です。</p> <p>詳細については、施設福祉課までお問合せください。</p>	<p>◆教育支援資金(教育支援費)のご案内◆</p> <p>平成26年度に入学を予定されている方の、学費等月々必要な費用を対象とする教育支援資金の教育支援費については、次のとおり取り扱います。</p> <p>本会受付 平成26年2月3日(月)~</p> <p>要件 本資金の申込みと併せて、日本学生支援機構等の他の奨学金を申込みこと。</p> <p>その他 入学後も申込可能です。その場合、市町村社協受付月分からの申込みとなります。</p> <p>※就学支度費の受付は、3月14日(金)本会到着分までです。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-324-5456
<p>◆平成25年度事業所セミナー(保育所)の開催のご案内◆</p> <p>保育士再就職支援事業の一環として、更なる人材確保と、より魅力ある保育園作りを目指すことを目的に、外部講師を招いてセミナーを開催します。</p> <p>日時 平成26年2月24日(月) 13:00~16:30</p> <p>会場 熊本県福祉総合センター5階研修ホール</p> <p>受講料 無料</p> <p>申込締切 平成26年2月14日(金)まで</p> <p>詳細についてはお問合せください。</p>	<p>◆第9回権利擁護・虐待防止セミナーのお知らせ◆</p> <ol style="list-style-type: none"> 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 日時 平成26年2月21日(金) 10:30~16:30 会場 全社協・灘尾ホール 参加対象 市町村社協、民生委員・児童委員協議会、社会福祉法人・福祉施設等 テーマ 「家族問題、生活困窮と権利擁護・虐待防止」 申込締切 平成26年2月7日(金)必着 <p>※参加希望の方は、当センターまでご連絡ください。</p>
ボランティアセンター	ご案内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	<p>◆地域福祉権利擁護事業パンフレットについて◆</p> <p>地域福祉権利擁護センターでは、「地域福祉権利擁護事業」の概要や契約までの流れを説明するためのパンフレットを作成しています。</p> <p>本事業を広く周知していただくためにも、ぜひ各市町村社協で開催される研修会等でご活用ください。</p> <p>必要部数については、当センターまでご連絡ください。</p>
<p>◆市町村ボランティアセンター機能強化課題別研究会のご案内◆</p> <p>日時 平成26年3月13日(木) 13:15~16:00</p> <p>場所 熊本県総合福祉センター 5階 研修ホール</p> <p>対象者 市町村社協のボランティアコーディネーター等</p> <p>テーマ 「ボランティア保険の効果的な取り扱いについて」</p> <p>参加費 1,000円</p> <p>締切 平成26年2月28日(金)</p>	